

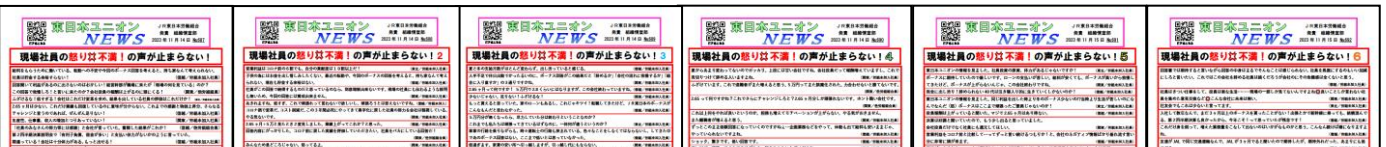


HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 組織情宣部
2023年11月16日 No.693

**東日本ユニオンに寄せられた
社員の「怒りの声」を経営側に訴える！**
「2023年度年末手当回答の再考を求める緊急申し入れ」11月15日団体交渉開催



社員の「怒りの声」に対し 経営側は「評価する声もある」と回答

【組合側の主張】

- ある職場で会社幹部は年末手当回答に対し「『JR 東海よりは低い、JR 西日本よりは高い』と説明していた」と報告を受けた。「何を見て支給額を判断したのか？**社員の奮闘が判断基準ではない姿勢の現れだ！**
- 投資ができるのは社員がお客さまや地域との信頼を築き上げ、好業績を生み出しているからである。利益がなければ投資はできない。だからこそ**利益を生み出している社員に投資をするべきだ！**
- 社員の奮闘に向き合い再考をするのは当然である。期末手当の基準額はまだ決定していない！社員の奮闘に感謝は述べているが、**言葉による感謝はいらない。社員の奮闘に満額回答で感謝を示すべきだ！**

【経営側の回答】

- 社員の声を無視しているわけではない。**回答を評価する声もある。**当社には 44,800 人の社員がおり、回答に対する受け止めは 44,800 通りある。
- 社員の奮闘に対して回答書で感謝を述べている。**数字だけが回答ではない。**11月10日に回答した内容で妥当であり、最終回答である。再考をする考えはない。

社員の怒りの声を受け止めず「再考しない」との回答に終始！

組織拡大を全組合員の課題としていくことを確認し妥結

**この現状を変えるために「怒り」や「不満」を行動に変え
今こそ「労働組合=東日本ユニオン」に加入しよう！**

年末手当要求実現のために取り組んでいただいた組合員のみなさんと
応援していただいたすべての社員のみなさんに感謝を申し上げます